

A Study on Adapting Software Engineering Techniques to New Testing Context with Data-Driven Approach

葉, 家鳴

<https://hdl.handle.net/2324/7157360>

出版情報 : Kyushu University, 2023, 博士 (工学) , 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏 名	葉 家鳴			
論 文 名	A Study on Adapting Software Engineering Techniques to New Testing Context with Data-Driven Approach (データ駆動型アプローチによる新たなテスト環境へのソフトウェア工学技術の適応研究)			
論文調査委員	主 査	九州大学	准教授	峯 恒憲
	副 査	東京大学	准教授	馬 雷
	副 査	九州大学	教授	趙 建軍

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、既存の GUI とスマートコントラクトのテストアプローチを例として、二つの新しいテストコンテキストに適応させるための新たなソフトウェアテストアプローチを提案するとともに、実験によりその有効性を示したものであり、情報知能工学上、価値ある業績である。よって本論文は博士（工学）の学位に値すると認める。